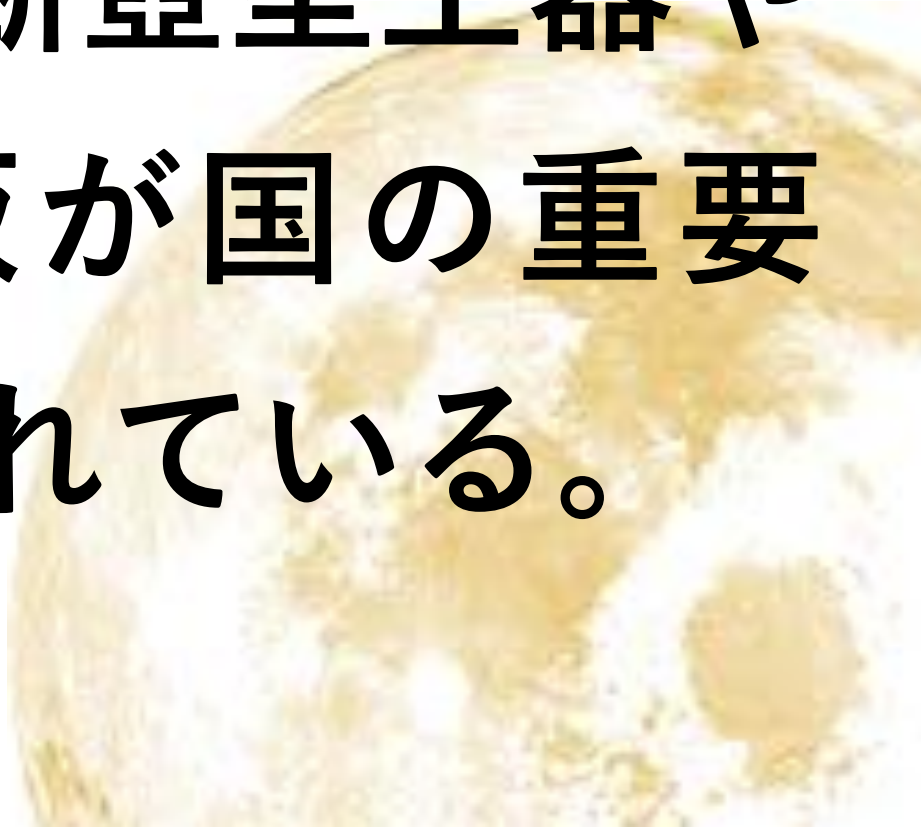


おいしい

大石平遺跡

縄文時代中期末葉から後期 前葉の遺跡

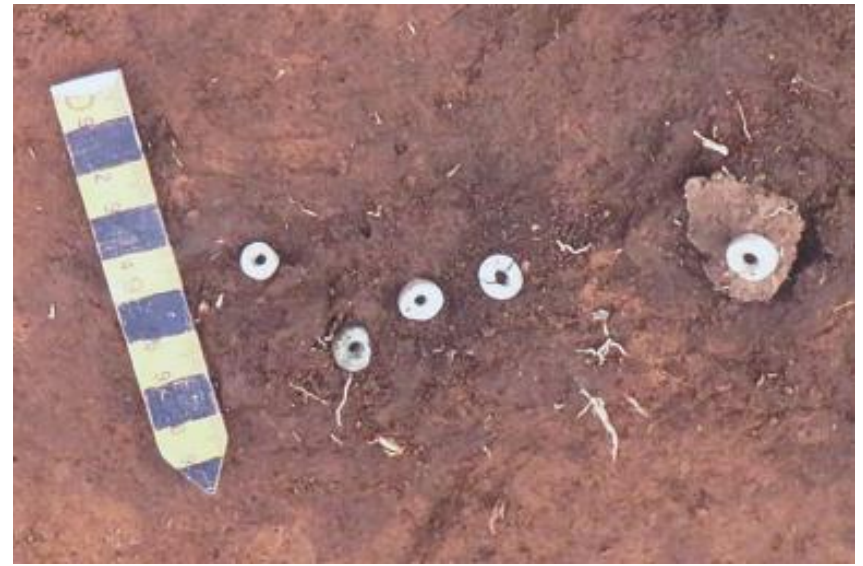
- ・発掘調査：1983～1985年
(S58～60年)
 - ・主な出土遺物は、十腰内Ⅰ式土器、土製品733点、石製品254点、石器6,500点などである。これらの出土遺物のうち、赤漆彩色切断壺型土器や手形足形付土板が国の重要文化財に指定されている。
- 



遺跡遠景



発掘の様子



出土遺物



出土土器

弥栄平遺跡

縄文時代中期末葉から後期 前葉の遺跡

- ・ 試掘調査：1981年（S56年）
- ・ 発掘調査：1982年・1989年
（S57年・H元年）
- ・ 大木 10 式併行土器が出土。
また、後期初頭の土器編年を
埋める土器が出土し、弥栄平
(2)式が設定された。後期の十
腰内 I 式土器の成立を考える
うえで貴重な資料である。



発掘の様子



出土遺物



出土土器

はっ ちゃざわ
発茶沢遺跡

旧石器時代、縄文時代、弥生時代、平安時代の複合遺跡

- **発掘調査：1972～1988年**
(S47～63年)

- ちょうしち や ち**長七谷地川群、表館式、早稲田 6 類などの前期前葉の土器が多く出土した。また、三角柱状の磨石や叩石、早稲田 6 類の土器片錘 43 点も出土した。**





遺跡遠景



発掘の様子



出土土器